7月20日（火）1学期　終業式の話

校長先生より

児童のみなさん、おはようございます。本日、7月20日（火）1学期の終業式を迎えました。1学期学校があった日数は、何日間だったと思いますか？大雨での臨時のお休みもありましたが、今日を入れて６９日間でした。みなさんは、そのうち何日元気に学校へ通うことができたでしょうか。

さて、今日の終業式にあたって、みなさんにお話ししたいことが１つあります。「東京オリンピック・パラリンピック」のお話です。

今日から3日後、7月２３日、東京都にある「オリンピックスタジアム」にて、第３２回オリンピックの開会式が行われます。８月８日（日）までの１７日間で行われる予定で、オリンピック史上最多の33競技・339種目が行われます。そのあと、パラリンピックが始まり、８月２４日（火）から９月５日（日）まで１３日間で行われることになっています。

新型コロナウイルス感染症が広がらないように、対策をしながらオリンピックを行わなければなりませんが、世界中のトップアスリートたちが、この日のために自分の技や演技に磨きをかけてきた姿をしっかり応援したいなあと思っています。

その応援したい出場選手の中に、日本の卓球選手　石川佳純さんという方がいます。オリンピックの代表選手に選ばれるすばらしい選手ですが、実は2年前に卓球をやめてしまうおうかと思ったことがあって、本当に卓球が嫌いになったことがあったんだそうです。

石川さんは、10代のころから卓球の日本トップ選手でした。石川さんが年を重ねていくたびに、若くて強い選手が次々と出てきて、勝てなくなって、いつしか負けが続くようになった時、焦ってしまい自分のプレーができなくなってしまったそうです。そんな石川選手が、オリンピック代表になるには優勝しなければならない大事な試合を迎えました。石川選手は、この時「卓球を楽しむ気持ちを思い出そう」、そして「目の前の試合を一生懸命全力でやろう」と気持ちを切り替えたんだそうです。結果は見事に優勝。石川選手は優勝の後のインタビューで「つらい時や助けが必要なときには、自分が自分を励まし、ほめてあげることがすごく大事だと感じました」と話されました。

自分で自分を励まし、ほめてあげることで、本当の自分の力を最大限出し切ることができた石川さん。それまでのすごい努力があってこその優勝だったと思います。

世界中のアスリートたちも石川選手のように、いろいろな経験や体験をして、今回の東京オリンピックに出場されていることでしょう。

その一人ひとりの活躍を光風台小学校のみなさんも目に焼き付けてほしいなあと思っています。そして、その人たちのこれまでの努力と当日のがんばりに拍手を送ってほしいと思っています。

さて、校長先生の去年の夏休みの挑戦は「毎日英語の日記をつけること」でした。今年の夏休みの挑戦は、東京オリンピックの 33 競技・339 種目の金メダリストの名前をノートに記録してみようと思っています。2 学期になったら、校長室の前にノートを置いておくので、興味がある人は見てみてください。

みなさんの夏休みの挑戦はどんなことでしょうか。2 学期が始まった時にどんな挑戦をしたのか、やってみてどうだったか、先生方や校長先生にも教えてくださいね。今から、8 月 25 日の 2 学期始業式にみんなの笑顔に出会うことを楽しみにしています。

これで校長先生の話を終わります。